

そうさ 匠瑛議会だより

第67号

2023

令和5年

3月1日発行

議会棟前において（全18議員と宮内市長）



令和4年度匠瑛市一般会計補正 予算など議案14件を可決・同意

12月定例会

令和4年12月定例会は、12月2日に招集され、19日までの会期18日間をもって開かれた。

初日に各一部事務組合議会議員の選挙を行った。その後、議案13件について、提案理由の説明があった後、議案第1号について先議し、可決した。

7日は、議案に対する大綱質疑が行われ、各常任委員会に議案を付託した。

7日、8日、9日には、予算決算、総務、文教福祉の各常任委員会において付託された議案の詳細な審査を行った。

14日、15日には、議員9人による市政に対する一般質問を行った。

19日の最終日には、付託議案に対する各常任委員長の審査報告、質疑の後、採決を行い、議案をすべて可決した。

また、市長から追加提案された人事案件1件に同意し、閉会した。

議会人事

12月定例会で、一部事務組合議会議員の選挙を行いました。

選挙結果は次のとおりです。
また、監査委員の選任について同意しました。

◆東総衛生組合

田村明美、増田正義

◆匠瑛市ほか二町環境衛生組合

佐藤悟、行木光一、伊東一成

◆匠瑛市横芝光町消防組合

石田勝一、林明敏、都祭広一、椎名勝英

◆東総地区広域市町村圏事務組合

山崎等、苅谷進一、武田光由

◆八匠水道企業団

山崎等、石田加代、小川博之、内山隼人、近藤魁人

◆千葉県後期高齢者医療広域連合

石橋春雄

■監査委員（12月19日同意）

小川博之

主な内容

表紙写真「議員集合写真」	12月定例会の概要	議会人事	1ページ
委員会の審査	一般質問の概要と質問項目		2ページ
一般質問			3～7ページ
委員会の視察	議会日誌	インターネット中継案内	7ページ
審議結果	3月定例会日程	編集後記	8ページ



←議会だよりの電子版はコチラ

(議会だより電子版は、このQRコードから閲覧できます。)

常任委員会の審査

※議案名等は、8ページの
の審議結果を参照

予算決算常任委員会

12月7日開催、委員17
名出席

付託された事件は、議
案5件

◆審査の経過及び結果

・議案第2号

企業版ふるさと納税、
シタイププロモーション事業、
生活保護扶助費、デマン
ド型交通運行事業、返還金
各施設の光熱水費、飼料
用米等拡大支援事業、新
規就農者育成総合対策事業、
マイナンバーカード交付
事業などに関する質疑が
あり、賛成多数で原案の
とおり可決するものと決
した。

・議案第3号

一般管理費、特定健康
診査等事業費に関する質
疑があり、賛成多数で原
案のとおり可決するもの
と決した。

・議案第4号

質疑はなく、賛成多数
で原案のとおり可決する
ものと決した。

・議案第5号

一般管理費に関する質

疑があり、賛成多数で原
案のとおり可決するもの
と決した。

・議案第6号

質疑はなく、賛成多数
で原案のとおり可決する
ものと決した。

総務常任委員会

12月8日開催、委員6
名全員出席

付託された事件は、議
案5件

◆審査の経過及び結果

・議案第7号

職員の高齢者部分休業
の内容に関する質疑があり、
賛成全員で原案のとおり
可決するものと決した。

・議案第9号

職員の定年年齢の引き
上げや再任用職員制度に
関する質疑があり、賛成
全員で原案のとおり可決
するものと決した。

・議案第10号

質疑はなく、賛成全員
で原案のとおり可決する
ものと決した。

・議案第11号

議員報酬の改定に関す
る質疑があり、賛成多数

で原案のとおり可決する
ものと決した。

・議案第12号

質疑はなく、賛成全員
で原案のとおり可決する
ものと決した。

文教福祉常任委員会

12月9日開催、委員6
名全員出席

付託された事件は、議
案2件

◆審査の経過及び結果

・議案第8号

マザーズホームの歴史
と利用状況、児童発達支
援センターの運用などに
関する質疑があり、賛成
全員で原案のとおり可決
するものと決した。

・議案第13号

病院事業管理者の任期
などに関する質疑があり、
賛成全員で原案のとおり
可決するものと決した。

●委員会終了後、国保匝 瑛市民病院において、施 設老朽化の現状及びコロ ナ対応状況について視察 を行った。▶関連記事7ページ

12月定例会

市政に関する一般質問

一般質問は、市政全般にわたり、市
長などに対し、事務の執行状況や将来
に対する方針などについて質問や提案
を行うとともに、報告や説明を求める
ものです。

12月定例会では9名の議員が質問
に立ちました。主な質問と答弁を要
約し、掲載しました。
なお、質問・答弁の詳細は「匝瑛
市議会会議録」をご覧ください。

一般質問の質問項目

林 明敏 議員

脱炭素先行地域について

市民病院について

避難所について

消防庁舎について

通学路について

雇用の創出について

過疎地域指定について

地域おこし協力隊について

子育てについて

高齢者福祉について

中国新型コロナウイルスに
ついて

都祭 広一 議員

病児、病後児保育の取り組
みについて

重度心身障害児、医療的ケ
ア児を支援する取り組みに
ついて

人口定住への取り組みについて

学生の地元企業とのマッチ
ングについて

子どもへのワクチン接種に
ついて

子育てについて

健康について

障害児について

内山 隼人 議員

マスクのルールについて

学校給食における食材選定
基準の策定について

ゲノム編集作物について

子どもへのワクチン接種に ついて

武田 光由 議員

子育てについて

健康について

障害児について

市内 隼人 議員

マスクのルールについて

学校給食における食材選定
基準の策定について

ゲノム編集作物について

石橋 春雄 議員

特産品開発支援事業について

乗り合いタクシーの導入に
ついて

市民病院建替整備計画について

市民病院の建て替えの進捗
状況について

新施設における人間ドック
について

今後の医師確保、増員について

看護士の確保について

田村 明美 議員

市民病院の建て替えの進捗
状況について

新施設における人間ドック
について

今後の医師確保、増員について

看護士の確保について

近藤 魁人 議員

事務事業評価について

JR八日市場駅の乗車人
数について

国保税の収納と被保険者 証交付の状況について

令和5年度国保税率・税
額について

匠瑛市ゼロカーボンシテ
イ宣言について

市公共施設のバリアフリ
ー化について

椎名 勝英 議員

学校給食について

農業後継者対策について

米価下落対策について

生活基盤整備について

非正規雇用再雇用について

近藤 魁人 議員

事務事業評価について

JR八日市場駅の乗車人
数について

空き地、空き家の活用に
ついて

苅谷 進一 議員

職場環境問題について

市民病院について

広域ごみ処理施設について

家畜保健衛生所について

ふれあいパークについて



林 明敏議員
(市民クラブ)

市民病院

問 市民病院建設計画の状況について伺う。

答 「病院事務局長」 来年度予算には用地取得に関する予算と、基本設計に関する予算を計上していきたいと考えている。

問 借地に建設する場合、財源的な措置があるのか。

答 「病院事務局長」 借地の場合には、充当できる国庫補助金や起債のよくな特定財源はないため、一般財源を充当していくことになる。

問 地元説明会は行つたのか。

答 「病院事務局長」 地元や地権者への説明会は重要であり、実施していきたいと考えている。

防災

問 県において建設予定の家畜保健衛生所に防災施設を含めた形での建設を要望しているが、その後の経過を伺う。

答 「産業振興課長」 新設する施設については、津波対策として外階段から4階屋上に避難場所として提供できる

避難スペースを設けているとのことである。

通学路

問 子どもたちの通学路の安全確保について、通学路の点検の状況と対応について伺う。

答 「教育長」 本年度8月に通学路合同点検を実施後、11月に通学路安全推進会議を開催し、新たに12か所の危険箇所を選定した。選定後7か所の対策を済ませ、残り5か所は来年度中に対策予定である。

産業振興

問 成田空港第3滑走路、銚子連絡道路圏央道も開通する予定であり、またとなないチャンスだと思つ。産業用地候補地検討調査業務の進捗状況について伺う。

答 「市長」 本年度は候補地選定等を行うこととし、現在、市内6か所の候補地案が示され、比較検討等を行っているところである。本年度内に、地権者など地域住民に意見等を伺いたいと考えている。

施設使用

問 八日市場ドームやのさかアリーナの収容については、定員の50%に制限しているが、緩和してはどうか。

答 「教育長」 国や県のガイドラインにおいて、大声での歓声、声援等がないことを前提とするイベントの場合は、収容率上限100%での開催も可能としていることから、12月10日に施設定員の制限を解除したところである。

子育て支援



都祭広一議員
(創 真の会)

問 基礎自治体の子育て支援とは、その自治体の看板政策であり、匝瑳市が特に遅れている病児、病後児保育の取組について、子育てをする保護者からは、早急な取組が求められており、民間事業者からも実施計画が示されている。一日でも早い支援体制の構築に向けて、今後の取組を伺う。

答 「市長」 何よりも子育てしやすい環境を整えるということが、これからの匝瑳市にとっては重要なことである。スピード感を持って対応するよう担当課にも指示をし、関係事業者ともさらに協議を進めて、しっかりとその実施予定時期に実施できるように進めていきたい。

問 令和3年9月に、医療的ケア児及びその家族に対する支援に関する法律が施行され、各自治体において医療的ケア児を支援する事業を進めていくことが義務づけをされた。しかし、具体的な施策の実現は自治体の取組次第となる。重い障害を持つ子どもたちの居場所確保や家族の思いを受け止めていただき、今後の体制整備について伺う。

答 「市長」 本市では、重度心身障害児が放課後や夏休みなどの長期休業中に利用することができる放課後等デイサービス事業所が4か所設置されており、医療的ケア児に対して適切な支援を受けられるよう、関係機関と医療的ケア児等支援協議会を設置し、コーディネーターの配置など、支援のための情報共有を行っている。今後も引き続き関係機関と連携しながら、重度心身障害児、医療的ケア児に係る支援体制の充実に努めていく。

答 「教育長」 保護者からの思いを受け止め、市内小学校の児童に医療的ケアを行う看護師の配置等を次年度春からスタートさせるつもりで、鋭意取り組んでいる。

雇用・定住

問 国の地方移住支援金制度(最大100万円)について、匝瑳市も該当地域となっているが実施されていない。しっかりとやって頂きたいが、制度を把握しているか。

答 「企画課まちづくり戦略室長」 この制度は、都道府県と市町村との共同事業として実施する必要がある調査・研究していきたい。





武田光由議員
(公明党)

子育て支援

問 妊娠から出産・子育てまでの一貫した伴走型相談支援と経済的支援を一体的に行う事業について、具体的には何を行うのか。

答 「健康管理課長」妊娠届出時と出産届出時にそれぞれ5万円を交付するとともに、子育て世代包括支援センターによる伴走型の相談ということ、妊娠届出時、妊娠8か月頃及び出産後に面談とアンケートを行う予定である。

問 「医療的ケア児及びその家族に対する支援に関する法律」の成立に伴う市の対応について伺う。

答 「市長」現在、本市と関係機関による医療的ケア児等支援協議会を設置し、情報共有を行っている。

答 「教育長」就学時健診や教育支援委員会等の開催時に、より適切な就学に向け専門家の意見を踏まえ協議している。

教育・福祉

問 文字の読み書き能力だけに困難を示す障害「ディスレクシア」について、市内小中学校における把握状

況とサポート体制を伺う。

答 「教育長」就学時健診や普段の学習状況等から、各学級0〜2名程度いると把握している。困難を抱える児童生徒に対しては、適切な座席配置、声掛け、平仮名表等の携帯など特性に応じた指導・支援を行っている。

なお、デジタル教科書等での文字の拡大表示、文章の読み上げ等の機能が有効な場合もあることから、必要に応じて活用を図るよう周知していきたい。

問 文部科学省が発出した、学校等における「かん発作時の口腔用液」「ブコロム」の投与に係る事務連絡について、学校等への伝達方法を伺う。

答 「教育長」市内小中学校及び幼稚園に文書を出し、周知を図った。今回の通知を受け、子どもの命を守る観点から職員研修や体制整備を含めた更なる周知を図っていききたい。

問 保育所におけるブコロム投与について伺う。

答 「福祉課長」市内保育所等に対して周知した。ブコロムの投与は、あくまでも緊急でやむを得ない場合とされており、生後6か月までの乳児に対し保育士が投与することは想定されていない。市内保育所等で当該行為が必要となる際には、担当医及び保護者と十分に協議を行っていききたい。

感染症対策



内山隼人議員

問 多くの子どもたちが体育の授業や登下校でもマスクを着用している。不要な場面では大人から外していかなければ、マスク離れ出来ないのではないか。厚生労働省のガイドライン「屋外は原則不要、屋内は人との距離が保てて会話をほとんど行わない場合は不要」に沿った運用を行政から示すべきではないか。

答 「市長」厚生労働省リーフレットを活用し、野外や屋内における場面に合わせたマスクの着用の推奨とマスクの必要がない場面について、市ホームページにおいて周知を図っている。

答 「生涯学習課長」屋外のウォーキングイベント等、距離が確保でき、会話をほとんど行わない場合は不要と考えている。図書館で本を読んだりする場面についても、距離が確保でき会話をほとんど行わない場合は「不要」と12月2日から周知している。

バイオテクノロジー

問 ゲノム編集食品が2019年10月から「表示義務なし」での流通が認められた。現在、トマト、マダイ、

トラフグの3品が届出されており、知らぬ間に食卓に並んでる可能性が高まっている。これを体内に取り込むことによる長期的な安全性に関する情報は不十分である。さらに開発企業によってゲノム編集トマトの苗が、2022年度に希望する全国の福祉施設へ、2023年度には希望する小学校に無償配布される計画がある。市として受け取るのか。

答 「学校教育課長」教育施設に無償配布する計画を把握しており、市内の学校に届いていないことを確認している。各学校に受け取らないよう周知した。

学校給食

問 匠瑤市の学校給食では、お米は市内産、野菜もなるべく市内産を優先し、地産地消に積極的に取り組んでおり、地元の有機米や有機みそを使用することもある。出汁は天然だし、調味料はなるべく遺伝子組み換えでない原料のもの、パンは国産小麦など、給食に関わってきた職員の努力と子どもたちを思う気持ち、地元の生産者との連携が成し遂げているものであり、市民が誇りを持つため、そして移住PRのためにも給食の食材選定基準(こだわり)を一目で分かるよう明文化してはどうか。

答 「学校教育課長」内容を精査しながら、市民に分かりやすいようホームページへ掲載をしていきたい。



石橋春雄議員
(市民クラブ)

産業振興

問 本市の特産品「赤ピーマン」や「匠瑛の舞」への支援事業の現状と課題について伺う。

答 「産業振興課長」 平成23年度、市商工会に「そうさブランド研究委員会」を設置し、赤ピーマンを使った商品開発を行っている。平成24年度にドレッシング、たれ、ソースを商品化平成25年度には販売を開始し、販路拡大に取り組んできた。販売開始から10年ほど経過しており、新たな商品開発の検討を含め、関係団体と協議していきたい。また、匠瑛の舞をはじめとした特産品のPRについても引き続き行っていきたい。

問 ふれあいパーク販売農家や優良農業経営者について、広報そっさ等で紹介してはどうか。

答 「秘書課長」 農業を担う方々を紹介することは、さらなる経営、生産意欲の向上につながるものとする。また、農業にかける思い等を発信することにより、本市農業のPRにもつながると考えている。
広報そっさ等での掲載について、今後、

関係課と調整していきたい。

公共交通

問 デマンドタクシーについては、市の運営よりも民間での運営を考へてはどうか。また、民間タクシー会社はどこまで運営できるのか。

答 「市長」 デマンド型交通は、複数の利用者が同じ時間帯に乗り合いで目的の乗降ポイントに向かう送迎サービスのこと。令和5年4月1日から導入予定である。運営は、市内の地理や道路等に精通している市内タクシー事業者や車両運行やオペレーター業務を委託予定である。

市民病院

問 市民病院建て替えについて、計画では5年かかるとのことである。市民の命を守る病院の建て替えは、緊急の課題であると考えている。市長の見解を伺う。

答 「市長」 市民病院の建て替えに取組むことを市民に公約し、6つのまちづくりビジョン、7つの重点施策のいずれにも掲げ、最優先で取り組むものである。
市民病院の建て替えは、多くの市民が望んでいるものと認識している。また、施設の老朽化が進む中、まさに喫緊の課題であると認識している。



田村明美議員
(日本共産党)

市民病院

問 市民病院の建て替えと充実を求める766筆の署名が、市長に提出された。新病院の建設場所、病院構想を伺う。

答 「市長」 建設候補地は、病院事業運営委員会が八日市場駅南側とする方向性が示され、熟慮した上で八日市場駅南側に絞り込んだものである。引き続き、意見を伺ってみたい。

答 「病院事務局長」 病床数は80床とし、診療科目は現在の科目を継続する。健診は、健診者専用待合室を設置し、患者と動線を別にしたいと考えている。

問 人間ドックの検査項目の充実が求められているが。

答 「病院事務局長」 当院の人間ドックでは、大腸検査は、便潜血検査で陽性の場合、診療で大腸内視鏡検査を行っている。脳ドックは、MRI検査は可能だが、専門医不在のため実施が困難な状況である。引き続き、実施方針を検討していきたい。

問 今後の医師数、看護体制は。
「病院事業管理者」 常勤医師は12月現在11名（内科5名、外科5名、

整形外科1名）で、4月からさらに内科医が1名増の予定。看護師確保は大変厳しい状況にあるが、中途採用者の確保で補っている。新卒者確保に向け、市内近隣の各高校や医療系学部のある大学を訪問し、奨学生募集を行っている。

問 要望署名にもあるが、産婦人科、小児科の再開が求められている。

答 「市長」 産婦人科、小児科は全国的な医師不足で、大変厳しいと認識しているが、医師確保は望むところであり、引き続き病院等と協議し進めていきたい。

公共施設

問 市の公共施設は、長寿命化対策とともにバリアフリー化改修も必要と考える。方針と計画を伺う。

答 「市長」 本年度改定を進めている「市公共施設等総合管理計画（素案）」において、改修予定の施設の段階解消、多機能トイレの設置など、ユニバーサルデザイン化の推進方針を定める予定である。

問 エレベーターがない施設にエレベーターの設置を求めたい。

答 「財政課長」 6つの施設にエレベーターとスロープがない。昇降機の設置については、近隣市町の状況等を調査研究していきたい。



椎名勝英議員
(日本共産党)

給食費

問

学校給食の無償化を進める法的根拠としては、憲法第26条「教育は無償とする」、学校給食法第2条「学校給食は食育である」、同じく第11条「給食費は保護者負担とする」である。2018年12月6日の参議院文教科学委員会、日本共産党の吉良議員の質問に対する文部科学大臣答弁は「1954年、文部事務次官通達のとおり、給食費補助を禁止する意図はないと、自治体の判断で全額補助することを否定するものではない」と述べている。

学校給食費は、小中学校9年間では43万2、300円になり、子どもが2人いる家庭では合計86万4、600円の負担になり家計を圧迫している。匝瑳市は、令和5年の1月まで学校給食費を無償にしているが、1月で終わりにせずに、引き続き無償にすべきと考えるが、いかがか。

答

「教育長」現在、本市では18歳までの子どもを3人以上有する家庭については、第3子以降を無償としている。しかし、完全無償化については、財源確保の観点から困難である。

人事

問

非正規で働く地方公務員の多くが、2022年度末雇止め止めの恐れがある。政府が雇用契約の更新を原則2回までとする方針を示したため、3年度の年度末に7割の自治体が職員の公募試験を実施する可能性があり、試験に受からなければ働けないと報道されている。匝瑳市の会計年度任用職員の採用方法について、採用試験を実施するのか。

会計年度任用職員の中には、市職員として長く勤めている人もいる。その人たちの生活を守ってもらいたい。

答

「総務課長」毎年度広く公募を行い、応募された方について、面接や書類による選考を実施している。選考による再度の任用について、回数の制限はない。

問

採用方法については、例年どおり応募者の中から書類と面接により行い、筆記試験は行わないというところが。

答

「総務課長」そのとおりである。

問

面接は、誰が行うのか。
「総務課長」各課等の長などが行う。

事務事業



近藤魁人議員

問

事務事業評価とは、税金がどう使われ、どのような結果が得られたのか、行政活動の最小単位を評価する仕組みである。詳細な事務事業評価シートの導入、適切な運用、情報公開が必要と考える。現在の簡易版ではなく、詳細版の導入について伺う。

答

「市長」各事業の概要や評価内容、事業費、今後の方針等を取りまとめた事業評価総括表について、市ホームページ等で公表し、市民への周知とともに意見募集を行っている。今後も制度のさらなる充実に向け、調査研究していきたい。

問

市長選挙の際、「財政の健全化を図るため、事務事業見直し評価シートの導入を実現した」と記載しているが、それは現在導入されているか。

答

「市長」各課でその事業を評価し、次年度の予算編成に生かしていくためのシートである。今回の予算編成方針にもその点を示し、各課において実施しているところである。

公共交通

問

第2次匝瑳市総合計画前期基本計画において、JR八日市場駅の乗車人数の増加を目標に掲げられているが、どのような取り組みを行っているのか。

答

「市長」JR東日本に対して終電時刻の繰下げ、快速列車の運行区間の延伸、特急列車の増発等のダイヤ改正に係る要望と併せて、駅南側からの乗降可能な改札窓口の設置等の施設整備に係る要望を行っている。

土地利用

問

未活用の空き地、空き家について、これまでの取組と活用方針を伺う。

答

「市長」空き家については、空き家に関する条例及び空家等対策計画に沿い、その対応に努めている。空き地については、匝瑳市まちをきれいにする条例に基づき、所有者や管理者に対し必要な指導を行っている。

活用に関しては、市有地処理審議会や市有地処理調査等委員会において調査・審議を行っている。活用方針は、今後、先進事例を調査研究していきたい。

問

市民の安全保障、土地資源の流出の観点から誰にでも土地を売却することは非常に危険と考える。外国資本による土地買収を規制する条例等はあるのか。

答

「財政課長」現在のところ、そのような条例等はない。



菊谷進一議員
(二十一世紀の会)

市民病院

問 令和3年度決算も出て、かなり厳しい状況と思う。その中で病院建設に向けて取り組んでいるが、財政的観点からの検討はしているか。また、資金シフトするようなことはないのか伺う。

答 「市長」 収支計画について調整を行っているので、改めて提示したい。令和5年度から建て替え整備事業が本格化する中で、国・県の補助金や病院事業債、合併特例債を活用してもなお、令和9年度までに1億5,000万円程度の現金が必要になると見込んでいるため、これまでに確保した現金預金を減らさず、さらに積み増せるよう取り組む必要があると考えている。

環境衛生

問 東総地区クリーンセンターの排気ガス基準超過の対応について伺う。

答 「市長」 当該施設のダイオキシン類に係る停止の経過等については、9月30日に千葉県確定値による正式報告、10月4日に組合議員への経過説明、10月21日に基準超過の原因や1号炉の稼働再開等の組合議員への文書発送を行った。

産業振興

問 家畜保健衛生所の進捗状況と今後の地元説明について伺う。

答 「市長」 千葉県畜産課に確認したところ、現在の進捗状況は、既存施設の解体工事及び建設業者の選定が終了した。説明会は、令和5年2月から3月に開催予定とのことである。

問

家畜保健衛生所について、太田前市長が地元住民に理解を得た上で進めたいと言っていたが、まだ理解を得られていないと思う。それなのに入札は進んでいる。まだ契約してないにしても、そういう状況下で、地元住民にしっかりと理解を求めようように動いていただけるのか。

答

「市長」 2月か3月に説明会を行うという情報は聞いている。理解を得られるよう県にお願いしたい。また、県とも、しっかりと進めながら、住民の声を聞いていきたい。

問

ふれあいパークの経営状況と今後の運営について伺う。

答

「市長」 集客数の減少傾向が続いている状況もあり、令和4年4月から9月までの総販売額は約1億8,425万円、前年同期と比較すると94・8%となっている。今後の運営については、6月より毎月開催している定例戦略会議で協議を重ね、効果的な対策等を講じながらサービスの充実と集客数の増加を図り、経営安定と健全運営に取り組んでいきたい。

行政視察

文教福祉常任委員会

文教福祉常任委員会では、12月9日(金)の委員会終了後、国保匠瑳市民病院において、施設老朽化の現状及びコロナ対応状況について視察しました。



▶ 国保匠瑳市民病院

議会日誌

令和4年(2022) 11月 ▶ 令和5年(2023) 1月

令和4年	11月	15日	11月臨時会
		18日	議会報編集委員会
		29日	議会運営委員会
	12月	2日	12月定例会開会、本会議【議案上程】
		7日	本会議【大綱質疑】、予算決算常任委員会、全員協議会
		8日	総務常任委員会
		9日	文教福祉常任委員会
		14日	本会議【一般質問】
		15日	本会議【一般質問】、全員協議会
		19日	本会議【採決】、12月定例会閉会
		22日	東総地区広域市町村圏事務組合全員協議会
令和5年	1月	12日	議会報編集委員会
		20日	東総地区広域市町村圏事務組合全員協議会
		24日	後期高齢者医療広域連合議会全員協議会
		25日	北総地区市議会正副議長会臨時会

(以上主なもの)

匠瑳市議会

インターネット中継 ぜひ、ご活用ください！

匠瑳市ホームページ内、市議会ホームページから、本会議のライブ中継及び録画中継をご覧いただけます。市議会を傍聴に來られない方などは、ぜひご覧ください。



令和4年(2022年)12月定例会の審議結果

議案番号	議案名等	議員名	審議結果	近藤	伊東	石橋	内山	椎名	都祭	増田	平山	林	山崎	行木	武田	小川	石田	佐藤	荻谷	田村	石田
				魁人	一成	春雄	隼人	勝英	広一	正義	政利	明敏	等	光一	光由	博之	加代	悟	進一	明美	勝一
1	令和4年度匠議市一般会計補正予算(第8号)について		原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	欠	○	○	○	○	○	○	○
2	令和4年度匠議市一般会計補正予算(第9号)について		原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○
3	令和4年度匠議市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)について		原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○
4	令和4年度匠議市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)について		原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○
5	令和4年度匠議市介護保険特別会計補正予算(第3号)について		原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○
6	令和4年度匠議市病院事業会計補正予算(第2号)について		原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○
7	匠議市職員の高齢者部分休業に関する条例の制定について		原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○
8	匠議市児童発達支援センターの設置及び管理に関する条例の制定について		原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○
9	匠議市職員の定年等に関する条例等の一部を改正する等の条例の制定について		原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○
10	匠議市職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例の制定について		原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○
11	匠議市議会議員の議員報酬、費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について		原案可決	○	○	○	×	×	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	×	○
12	匠議市特別職の職員で常勤のもの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例の制定について		原案可決	○	○	○	○	×	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	×	○
13	匠議市病院事業の管理者の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例の制定について		原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○
14	匠議市監査委員の選任について		同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	除	○	○	欠	○	○

※「議」議長は、採決に加わりません。 ○賛成 ×反対 欠は採決時、欠席 退は退席 除は除斥

編集後記

桃の節句の雛飾りがご家庭を明るく華やかにしているものと思います。又、梅の花も咲き、春が一步一步近づいていることを感じるようになりました。

流行から3年を経過する新型コロナウイルスは、ゴールデンウィーク明けの5月8日から感染症法上の分類が季節性インフルエンザと同じ「5類」に緩和される予定です。

コロナと共生しながら、これまでの生活に少しずつ戻していきましょう。昨年10月に執行された匠議市議会



議員一般選挙後、初めての定例会が12月に開催され、大綱質疑、各常任委員会、一般質問等において活発な議論が行われました。

本号では、その議論の一幕を掲載していますので、ご一読ください。

委員長 平山 政利

委員 平山 政利
副委員長 増田 正義
委員 都祭 広一
委員 内山 隼人
委員 小川 博之
委員 武田 光由
委員 山崎 等

令和5年3月定例会の予定

(3月3日～3月22日 会期20日間)

日	月	火	水	木	金	土
2/26	27	28 議会運営委員会	3/1	2	3 開会	4
5	6 質疑調整のため休会	7 質疑調整のため休会	8 大綱質疑予算決算常任委員会	9 予算決算常任委員会	10 総務常任委員会	11
12	13 文教福祉常任委員会	14 産業建設常任委員会	15 質問調整のため休会	16 一般質問	17	18
19	20 総合調整のため休会	21 春分の日	22 閉会	23	24	25

※日程は変更となる場合があります。
日程や傍聴などのお問い合わせは、議会事務局またはホームページまで。 ☎0479(73)0099